



「エディウス J」を使って、 ビデオ編集にチャレンジ!



富山県映像センター
(富山県民生涯学習カレッジ 映像センター課)



もくじ

もくじ.....	2
ビデオ編集の基礎	3
はじめに.....	3
「標準画質」と「ハイビジョン画質」	4
エディウス J を起動する.....	5
スタート画面	5
新規プロジェクトの作成	6
プロジェクトファイルを開く	6
プロジェクトファイルを保存する.....	7
映像をパソコンに取り込む（キャプチャ）	8
テープから映像を取り込む.....	8
ファイルから映像を取り込む（映像ファイル）	10
ファイルから映像を取り込む（静止画ファイル）	13
好きな順序で並べる.....	14
タイムラインの表示.....	18
タイムラインにクリップを並べる.....	19
不要な部分をトリミングする	20
画面の切り替えを効果的に！（トランジション）	21
画面に説明を付ける（タイトル）	24
タイトルクリップを作成する	24
タイトルクリップに効果をかける.....	27
BGM を追加する.....	28
完成した映像作品を書き出す.....	30
テープへ書き出す	30
DVD に書き出す	32
改訂履歴.....	36

MEMO

本書は、トムソン・カンノーブス株式会社（Thomson Canopus Co., Ltd.）から販売されているビデオ編集ソフトウェア「エディウス J」を利用して、富山県映像センターの映像工房でビデオ編集する手順を説明したもので、富山県映像センター（富山県生涯学習カレッジ 映像センター課）で作成したものです。

「エディウス J」に付属のユーザズマニュアルをもとに作成してありますが、ファイルの保存場所など、富山県映像センターの映像工房での使用にあわせてカスタマイズされた環境用での操作を説明していますので、映像工房以外の場所での利用時にはご注意ください。

本書で使用している映像素材は、富山県映像センターが撮影をおこなったものです。また、トムソン・カンノーブス株式会社はテキストについて一切の責任を負いません。本書の内容については、富山県映像センターまでお問い合わせください。



コピー OK 障害者 OK 学校教育 OK

利用の際は必ず下記サイトを確認下さい。

www.bunka.go.jp/jiyuriyo



ビデオ編集の基礎

はじめに

多くのメーカーから販売されているビデオカメラには、様々な方式がありますが、デジタル方式で記録されたものであれば、パソコンで簡単にビデオ編集できます。

「標準画質」と「ハイビジョン画質」などの方式によって記録されている映像の解像度は異なるものの、日本国内のテレビで表示できる映像は、1秒間に30枚のバラバラ漫画のように記録されています。

撮影・編集をはじめる前に、自分の使用しているビデオカメラがどのような「方式」「メディア（媒体）」「解像度」で記録しているかを確認しておくといよいでしょう。

パソコンを用いたビデオ編集（ノンリニア編集）は、右図のように

- ・ キャプチャ
- ・ 編集
- ・ 書き出し

という3つの作業工程で行います。テープで撮影された映像も、パソコンのHDDに取り込み（キャプチャ）、パソコンの中では「ファイル」として保存されます。

ビデオカメラの種類

多くのメーカーから販売されているビデオカメラには、以下のように様々な方式があります。デジタル方式で記録されたビデオカメラであれば、パソコンで簡単に編集できます。

■ アナログ

- ・ Hi-8
- ・ VHS-C

■ デジタル

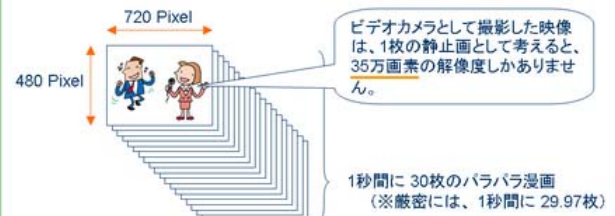
- ・ DV方式（DV、MiniDV）
- ・ DVD方式（DVD-R、DVD-RW、DVD-RAM）
- ・ メモリカード方式（SDカード）
- ・ HDD方式（ハードディスク）

以降の説明は、MiniDVテープにDV方式で撮影された場合を例に行います。



デジタル方式で撮影された映像の画質

デジタル方式のビデオカメラで撮影された画像は、幅720、高さ480の解像度で、1秒間に30枚のバラバラ漫画のように撮影されます。



編集の流れ

パソコンを使ったビデオ編集は、「キャプチャ」「編集」「書き出し」という3つの作業で行います。

- ・ 「キャプチャ」とは、撮影した映像をパソコンのハードディスクの中に取り込む作業です。
- ・ 「編集」とは、パソコンに取り込んだ映像を実際に編集する作業です。
- ・ 「書き出し」とは、編集した映像作品をテープやDVDとして書き出す作業です。



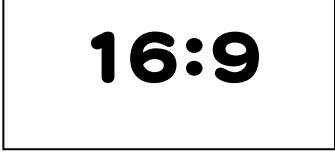
↑ 解像度 … ディスプレイの表示能力やプリンタの印刷能力、スキャナの分解能力など、きめ細かさや画質の滑らかさを表す尺度。単位幅をいくつかの点の集合として表現するかを表わし、この値が高いほど、より自然に近い画質が得られる。一般に「標準画質」の映像の解像度は720×480である。



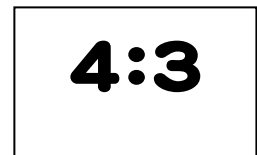
「標準画質」と「ハイビジョン画質」

ビデオカメラで撮影した映像には、下図のように記録されている映像の縦と横の比率（縦横比）が4：3のものと、16：9のものがあります。

「ハイビジョン画質」は16：9で記録されていますが、16：9だから「ハイビジョン画質」とは限りません。「標準画質」で16：9の縦横比で記録するビデオカメラもあります。自分の使用しているビデオカメラが、「標準画質」と「ハイビジョン画質」のどちらで記録しているのか、よく確認しておきましょう。

標準画質（SD）		ハイビジョン画質（HD）
		

「エディウス J」を利用したビデオ編集する場合、「標準画質」の16：9の映像は4：3の縦横比の画面に収まるように縮小され、上下に黒い帯が追加された映像になります。（このような表示を、一般にレターボックスⁱⁱ表示と呼びます。）



まず、自分の使っているビデオカメラが、どのような方式で映像を記録しているのかを理解しておきましょう。

※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 2～3ページを参照

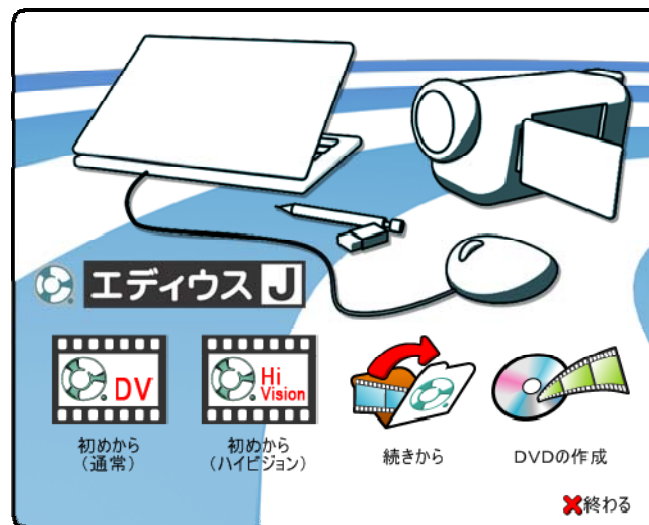
ⁱⁱ レターボックス … レターボックスとは映像メディアの表示画面サイズにおいて、他の画面サイズ規格との表示互換性をとるために本来の撮影された映像部分の上限部に黒帯を追加した状態のものを呼ぶ。略号でLBとして表示される場合も多い。



エディウス J を起動する

スタート画面

ビデオ編集をはじめるときは、デスクトップにある「エディウス J」のアイコンをダブルクリックします。しばらく待っていると、「エディウス J」のスタート画面が表示されます。



 初めから (通常)	「標準画質」の映像を編集する場合に選択します。 ※ DV テープ (DV) や DVD に記録された映像 (標準画質) を編集する場合
 初めから (ハイビジョン)	「ハイビジョン画質」の映像を編集する場合に選択します。 ※ DV テープ (HDV) や AVCHD で記録された映像 (ハイビジョン画質) を編集する場合
 続きから	保存されているプロジェクトを読み込み、編集を続ける場合に選択します。
 DVDの作成	保存されているプロジェクトを読み込み、DVD を作成する場合に選択します。

※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 4～5 ページを参照



新規プロジェクトの作成

「エディウス J」のスタート画面で、「初めから（通常）」「初めから（ハイビジョン）」を選択すると、下図のようなプロジェクト名を入力する画面が表示されます。



プロジェクト名には、「利用者名」「撮影内容」を含めた名前を入力します。

例えば、
山田一運動会
鈴木一発表会

など

ここで入力したプロジェクト名で、HDD 内に保存用のフォルダが作成されます。

※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 6～7 ページを参照

MEMO

映像工房の編集パソコンにインストールされている「エディウス J」は、作成したプロジェクトに関するファイルを、HDD の D ドライブに指定したプロジェクト名のフォルダを作成して保存します。

※ DVD や CD からの取り込みを除いて、意図的に違うフォルダにデータを保存しようとしないう限りは、他のフォルダにデータを保存することはありません。

編集が終わったら、フォルダごと削除すると、関連するデータを削除できます。

プロジェクトファイルを開く

「エディウス J」のスタート画面で、「続きから」を選択すると、最近使ったプロジェクトが表示されます。その中に、編集しようとしているプロジェクトがあれば選択します。



他の利用者の
プロジェクトは開かない！

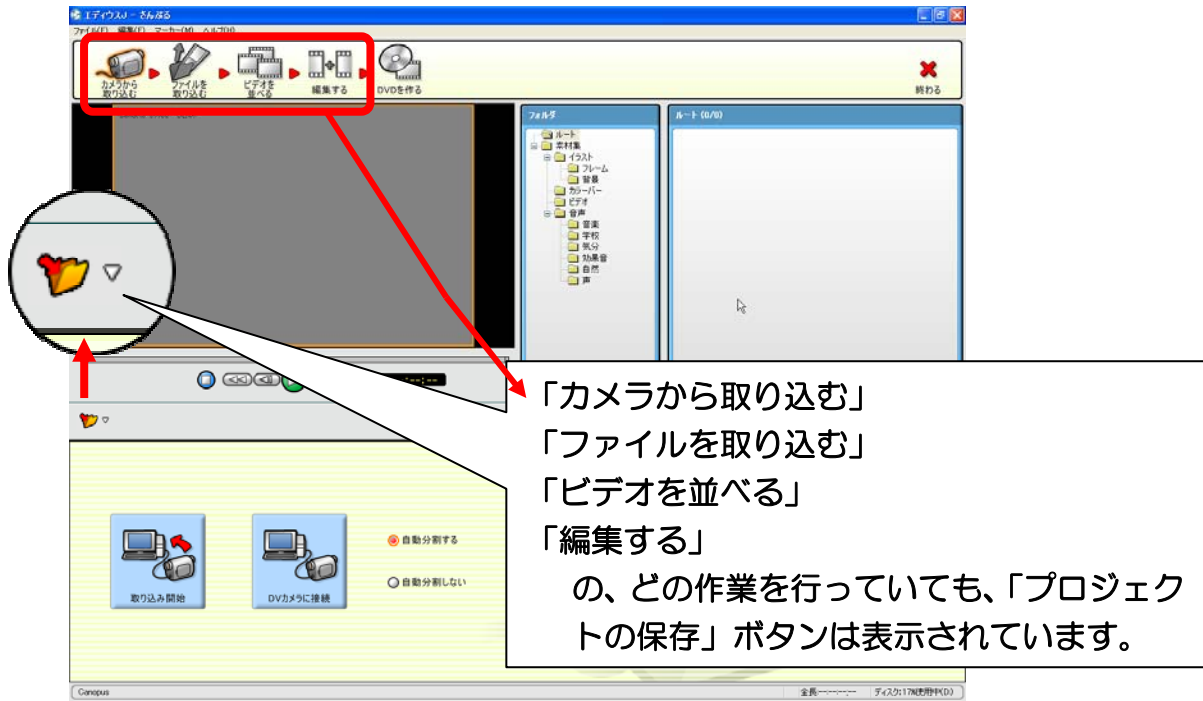
「最近使ったプロジェクト」の中に、編集しようとしているプロジェクトが見つからなければ、「プロジェクトを開く... (O)」ボタンを押して、編集するプロジェクトを開きます。

※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 8～9 ページを参照



プロジェクトファイルを保存する

編集したプロジェクトの内容を保存するときには、下図のように「エディウス J」のプレビュー画面の下にある「プロジェクトの保存 (Ctrl + S)」ボタンを押します。



※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 10～11 ページを参照

MEMO

編集内容を不慮のアクシデントで消失してしまわないように、定期的にプロジェクトを保存しましょう。

「エディウス J」のプロジェクトファイルは、プロジェクト名のフォルダに .ezp という拡張子を付けたファイルとして保存されます。プロジェクトファイルには、使用しているビデオファイル（クリップ）や静止画ファイルなどの素材を、どのようにタイムラインに並べているかなどの情報が保存されています。

プロジェクトファイルだけをコピーしても、使用しているすべての素材が揃っていないければ、編集を継続できません。



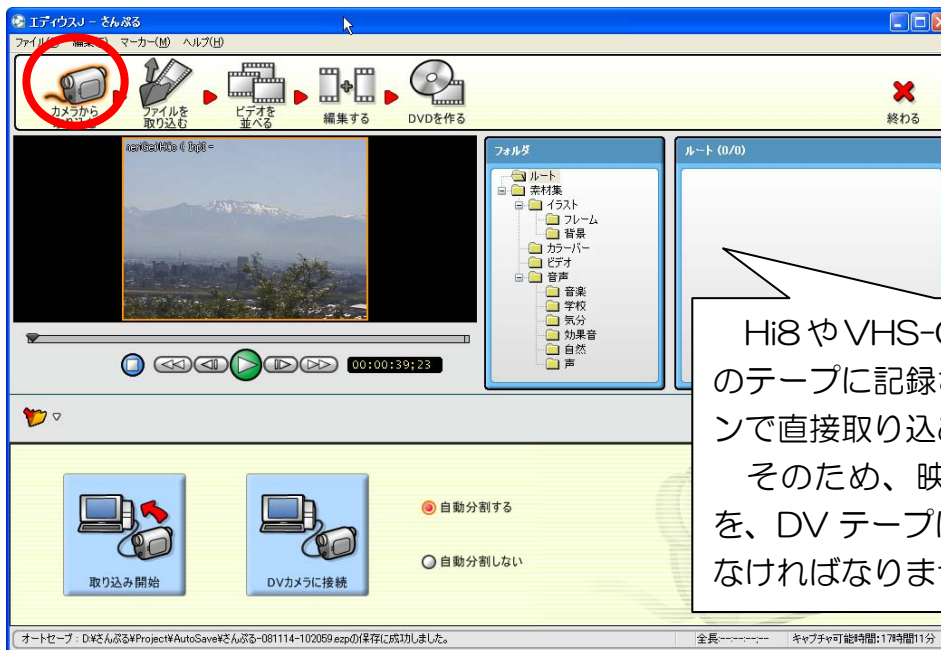
映像をパソコンに取り込む(キャプチャ)

テープから映像を取り込む

「DV テープ (DV)」か「DV テープ (HDV)」で撮影された映像を取り込む場合には、「エディウス J」の画面上部にある「カメラから取り込む」ボタンを押します。



テープ以外のメディア（媒体）に記録された映像の取り込みは、後述する「ファイルから映像を取り込む（映像ファイル）」を参照してください。



Hi8 や VHS-C などのアナログ形式のテープに記録された映像は、パソコンで直接取り込めません。

そのため、映像編集に必要な部分を、DV テープに変換（ダビング）しなければなりません。

右の写真のように、DV テープに映像を記録するカメラには DV 端子（厳密には、IEEE1394^{III}端子）が備えられています。この端子を使って、パソコンとビデオカメラを接続します。



DV と HDV の切り換えが可能なビデオカメラの場合、ビデオカメラの出力設定を「自動」や「オート」ではなく、「DV」か「HDV」のどちらかに設定してください。「自動」になっていた場合、ビデオカメラを正しく認識できない場合があります。

※ ビデオカメラの設定変更については、ビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

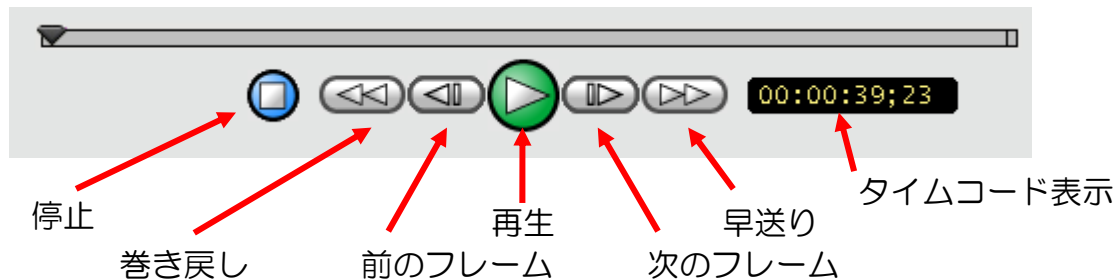
※詳細は <http://www.thomson-canopus.jp/tech/faqid/faq000734.htm> も参照

^{III} IEEE1394 … AV 機器やコンピュータを接続するための高速シリアルバス規格のことで、FireWire、i.LINK、DV 端子などとも呼ばれている。機器への電源供給にも対応した 6 ピンコネクタと非対応の 4 ピンコネクタの 2 種類が存在しており、ビデオカメラの多くには 4 ピンコネクタが用いられている。



ビデオカメラがうまく認識されないときには、ビデオカメラの接続を確認して、「DV カメラに接続」「HDV カメラに接続」を押して、再接続します。

画面上部の「カメラから取り込む」ボタンが選択されている状態で、パソコンとビデオカメラが IEEE1394 ケーブルで接続されていれば、プレビュー画面下のコントロールパネル（下図）で、ビデオカメラの再生、停止などの操作が行えます。



ビデオカメラから映像を取り込むには、以下の作業をくり返します。

1. コントロールパネルで、取り込みたい映像の少し手前にテープの頭出しをします。
2. 「取り込み開始」ボタンを押して、映像の取り込み（キャプチャ）をはじめます。
3. 取り込みたい部分が終わったら、「Stop」ボタンを押して、取り込みを終了します。
4. 取り込んだ映像（クリップ）は、「エディウス J」の画面右上の Bin に登録されます。
5. 編集に必要な映像だけくり返します。



「取り込み開始」ボタンの右側に表示されている「自動分割する」が ON になっている状態

で取り込むと、テープに記録されているタイムコード^{iv}や撮影日時によって、取り込んだクリップが自動的に分割されます。「自動分割しない」が ON になっていると、「取り込み開始」ボタンを押してから「Stop」ボタンを押すまでの映像が 1 つのクリップとして取り込まれます。

※ 「エディウス J」は、「超編 Ultra EDIT2」のように複数のクリップをまとめて取り込む「バッチキャプチャ」が行えません。

※ 取り込んだクリップの名前は重複しないように、自動的に割り当てられます。

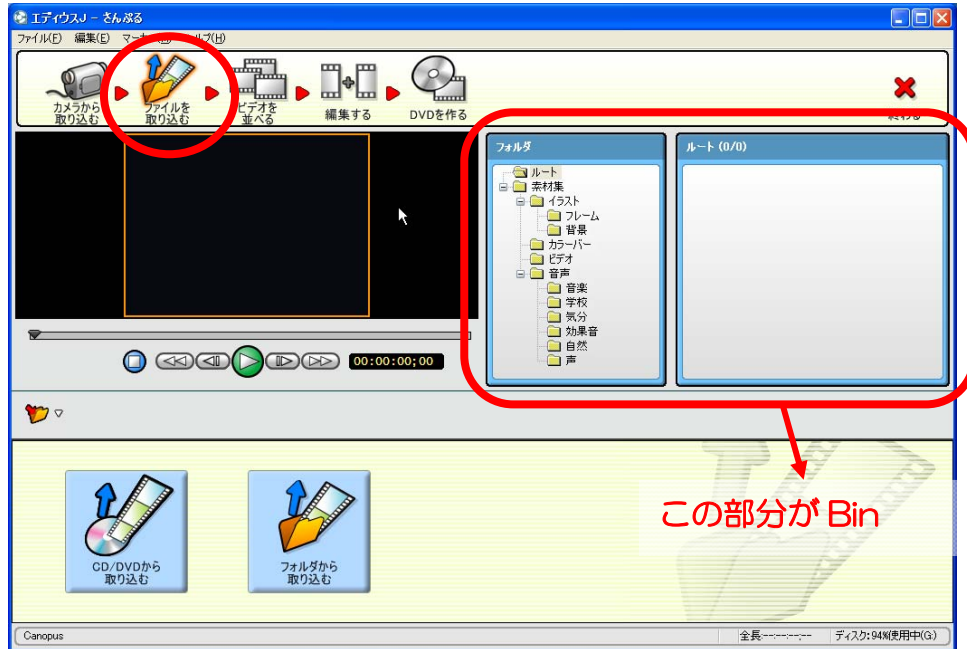
※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 16～24 ページを参照

^{iv} タイムコード … 映像や音響機器に記録されている時間情報のこと。00:00:00:00 などと表記され、それぞれ「時間」「分」「秒」「フレーム」を表している。



ファイルから映像を取り込む(映像ファイル)

「DV テープ (DV)」や「DV テープ (HDV)」ではなく、HDD やメモリーカード、DVD に撮影された映像を取り込む場合には、「エディウス J」の画面上部にある「ファイルから取り込む」ボタンを押します。



※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 26 ページを参照

■DVD から取り込み

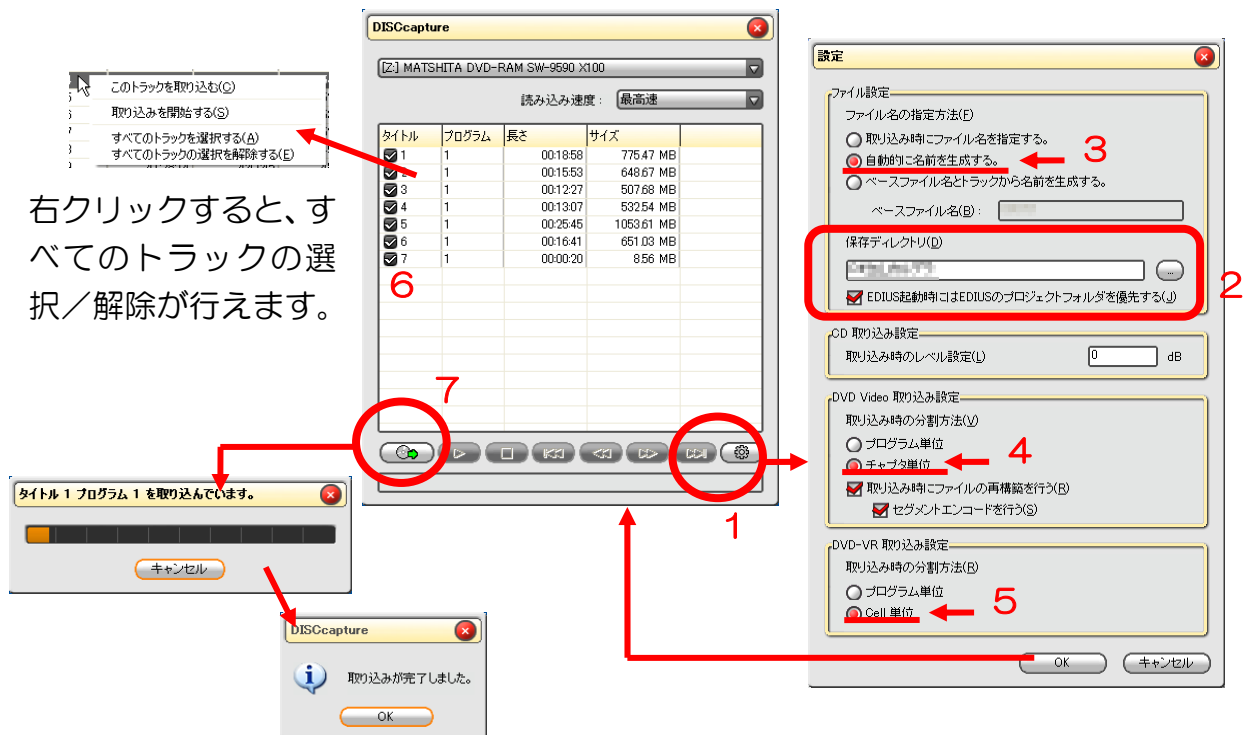
DVD-Video (ビデオモード) や DVD-VR (VR モード) の方式で記録された DVD から映像を取り込むときは、「CD/DVD から取り込む」ボタンを押します。



- ※ ファイナライズされていないディスクは、認識できないので、撮影に用いたビデオカメラ・機器でファイナライズしてから取り込みましょう。
- ※ DVD に記録されていても、AVCHD のような DVD-Video や DVD-VR の方式ではない DVD からは、この方法では映像を取り込めません。 後述する「■HDD やメモリーカードから取り込み」を参照してください。
- ※ どの形式で記録されているのか分からないときには、その DVD にどのようなフォルダが記録されているかを確認しましょう。 DVD-Video で記録されている DVD には VIDEO_TS、DVD-VR で記録された DVD には DVD_RTAV というフォルダが存在しているはずです。これらのフォルダが存在していない場合には、ファイナライズされていないか、その他の形式で記録されています。



DVD から映像を取り込むには、「CD/DVD から取り込む」ボタンを押して表示された「DISCcapture」ダイアログで、以下の作業を行います。 **手順通りに行なわないと、意図していないフォルダに取り込まれてしまうので注意してください。**

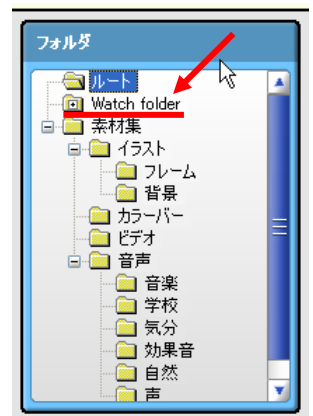


1. まず、「設定」ボタン () を押して、「設定」ダイアログを表示させます。
2. 「ファイル設定 — 保存ディレクトリ(D)」の「参照」ボタン () を押して、取り込んだファイルを保存するフォルダを指定して、「OK」ボタンを押します。
※ 編集集中のプロジェクトが保存されているフォルダを指定します。
3. 「自動的に名前を生成する」を ON にします。
4. 「DVD-Video 取り込み設定」について「チャプタ単位」を選択し、「取り込み時にファイルの再構築を行なう (R)」 「セグメントエンコードを行なう (S)」の項目を ON にします。
5. 「DVD-VR 取り込み設定」について、「Cell 単位」を選択します。
6. 取り込みたい映像の「タイトル」の欄にあるチェックボックスを ON にします。
7. 「取り込み」ボタン () を押して、取り込みを開始します。

上記の 1. ～ 6. の操作を行うと、映像が HDD の中にファイルとして取り込まれ、Bin の「Watch folder」フォルダに登録されます。

「Watch folder」フォルダに登録されていない場合は、上記の 2. で指定したフォルダに、取り込まれたファイルが保存されているので、後述の「■HDD やメモリカードから取り込み」の手順で Bin に登録しなければなりません。

※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 31～34 ページを参照

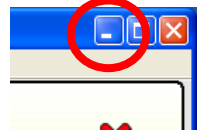




■AVCHD 形式の取り込み

AVCHD 形式[※]で撮影された映像は、「エディウス J」で直接扱うことができないため、「Canopus AVCHD Converter」というプログラムで変換して、「エディウス J」で扱えるファイル（拡張子が .avi）にします。以下の手順で作業を行います。

1. まず、「エディウス J」の画面を最小化します。
2. Windows のエクスプローラーを使って、AVCHD 形式の映像（拡張子が .m2ts や .mts）をプロジェクトが保存されているフォルダにコピーします。
3. デスクトップ上にある「AVCHD2HQ」のアイコンに、前項でコピーした AVCHD 形式の映像をドラッグ&ドロップします。**（「AVCHD2HQ」と似たアイコン表示の違うアイコンに注意しましょう！）**
4. 前項のように AVCHD 形式の映像をドラッグ&ドロップすると、「エディウス J」で変換処理が行われます。
※ 変換には、記録されている映像に比例した時間を要します。
5. 複数の映像を変換したい場合には、前項 3. ～ 4. の手順をくり返すか、複数のファイルをまとめてドラッグ&ドロップします。



上記のように、「エディウス J」を起動させたままの状態でも AVCHD 形式の映像を変換した場合には、変換後の映像は自動的に「エディウス J」の画面右上の Bin に登録されます。しかし、上記 1. のように最小化ではなく、「エディウス J」を終了してしまった場合には、後述の「■HDD やメモ리카ードから取り込み」の手順で Bin に登録しなければなりません。

※詳細は <http://www.thomson-canopus.jp/tech/faqid/faq000857.htm> も参照

■HDD やメモ리카ードから取り込み

「エディウス J」が直接扱うことのできる形式の映像ファイルは、以下の手順で作業を行って、編集に利用します。

1. Windows のエクスプローラーを使って、使用する映像ファイルをプロジェクトが保存されているフォルダにコピーします。
2. 前項でコピーした映像ファイルを、「エディウス J」の画面右上の Bin にドラッグ&ドロップします。
3. 複数の映像ファイルを利用したい場合には、前項 1. ～ 2. の手順をくり返すか、複数のファイルをまとめてドラッグ&ドロップします。

※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 35～36 ページを参照

[※] AVCHD … AVCHD はパナソニックとソニーが基本仕様を策定したハイビジョン動画記録フォーマットであり、8cm DVD の記録容量でも十分な高画質の動画が撮影できるように、映像には高効率符号化が可能な H.264/MPEG-4 AVC 方式を、音声にはドルビーデジタル方式を採用したものである。「SD カード」や「メモリースティック」「HDD」「8cm DVD」など、様々なメディア（媒体）に映像を記録できるが、記録された映像は .m2ts や .mts という拡張子のファイルとして保存されている。



ファイルから映像を取り込む(静止画ファイル)

デジカメ（デジタルスチルカメラ）で撮影した写真（静止画ファイル）も、ビデオ編集の素材として利用できます。前述の「■HDD やメモリカードから取り込み」と同様の手順で Bin に登録します。



1. Windows のエクスプローラーを使って、使用する静止画ファイルをプロジェクトが保存されているフォルダにコピーします。
2. 前項でコピーした静止画ファイルを、「エディウス J」の画面右上の Bin にドラッグ＆ドロップします。
3. 複数の静止画ファイルを利用したい場合には、前項 1. ～ 2. の手順をくり返すか、複数のファイルをまとめてドラッグ＆ドロップします。

「エディウス J」は、Bin に登録された静止画ファイルが画面いっぱいに表示されるように拡大・縮小して表示します。その際、静止画ファイルが編集集中のプロジェクトの縦横比（「4：3」もしくは「16：9」）と一致しない場合には、上下もしくは左右に黒い帯を付けて表示します。

黒い帯を表示させたくないときは、Bin に登録する前にトリミング^{vi}などの処理を行ってください。

※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 35～36 ページを参照

MEMO

CD や USB メモリなどに保存された映像ファイルや静止画ファイルを用いてビデオ編集を行う場合、以下の点に注意してください。

- ・ 使用する映像ファイルや静止画ファイルを、HDD 内のプロジェクトが保存されているフォルダにコピーする。
- ・ 「エディウス J」の画面右上の Bin には、プロジェクトが保存されているフォルダの中に保存されているファイルをドラッグ＆ドロップする。

上記のように HDD にコピーせずに、CD や USB メモリに保存されているファイルを直接 Bin に登録した場合、CD や USB メモリが取り外された場合に編集作業が継続できなくなるばかりか、転送速度が確保できなくてエラーになる場合があります。

^{vi} トリミング … トリミングとは、暗室やコンピュータ上での写真の画像処理において、画面の一部だけを切り出す加工を指す。

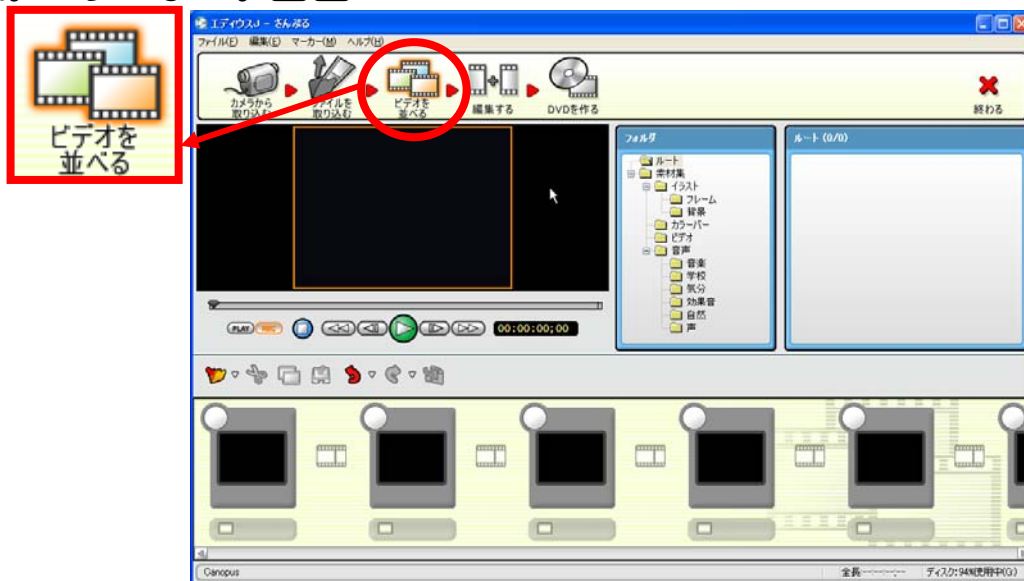


好きな順序で並べる

HDD 内に取り込まれ、Bin に登録されたクリップ(映像ファイルと静止画ファイルなど)を使って、編集作業を行うには、「エディウス J」の画面上部にある「ビデオを並べる」ボタンか「編集する」ボタンを押します。

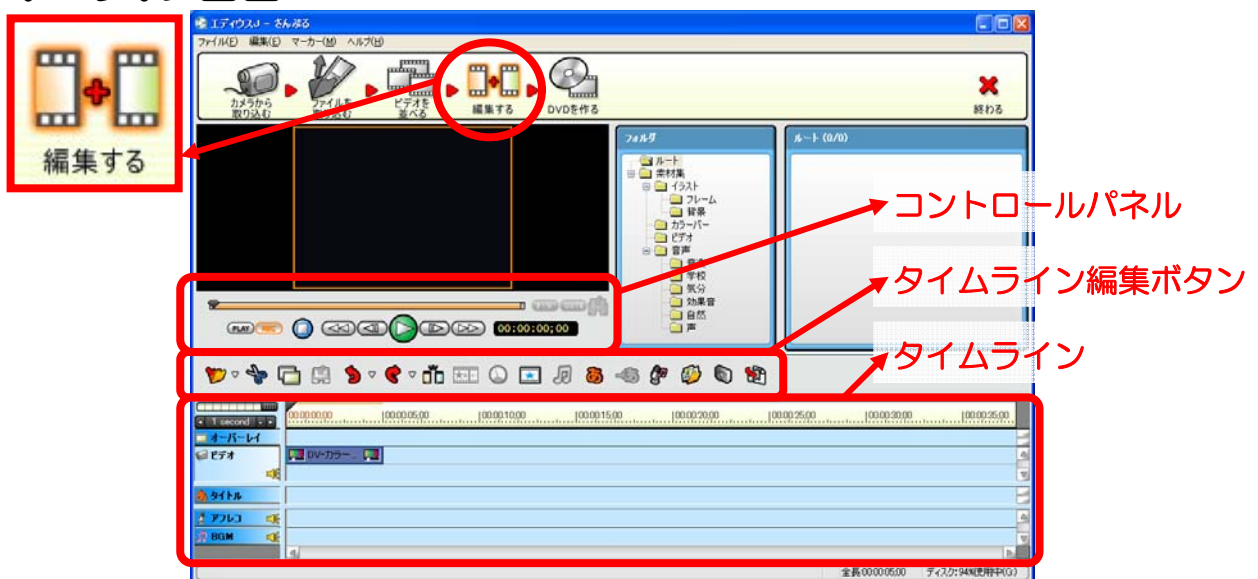
「ビデオを並べる」ボタンを押した時には「ストーリーボード画面」で、「編集する」ボタンを押したときには「タイムライン画面」で編集を行います。「ストーリーボード画面」では、大まかにクリップを並べることしかできないので説明を省略し、「タイムライン画面」での編集について説明をすすめます。

ストーリーボード画面



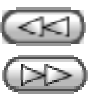
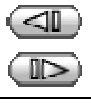
※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 38～51 ページを参照

タイムライン画面





コントロールパネル

	「プレーヤーに切り替え」ボタン Bin ウィンドウで選択したクリップを、プレビューウィンドウで再生して確認する「PLAYER モード」に切り替えるボタン。
	「レコーダーに切り替え」ボタン 編集集中の作品をプレビューウィンドウで再生して確認する「RECORDER モード」に切り替えるボタン。プレビューウィンドウは、通常は「RECORDER モード」で表示されているが、Bin ウィンドウのクリップをプレビューするときのみ、「PLAYER モード」になる。
	「再生」ボタン プレビューウィンドウで再生を開始するボタン。Enter キーを押しても、同様に再生を開始する。
	「停止」ボタン プレビューウィンドウで再生を停止するボタン。プレビューウィンドウで再生中の状態であれば、Enter キーを押しても、同様に再生を停止する。
	「巻き戻し」「早送り」ボタン 巻き戻し／早送りを行うボタン。連続で押すと、巻き戻し／早送りの速度が段階的に速くなる。
	「前のフレームに移動」「次のフレームに移動」ボタン 直前のフレーム／次のフレームに移動するボタン。

タイムラインの 5 種類のトラック

「エディウス J」には、「オーバーレイ」「ビデオ」「タイトル」「アフレコ」「BGM」という 5 種類のトラックがあります。

オーバーレイ	「ビデオ」よりも手前に表示されるトラック。配置したクリップは、映像のみが使用され、音声は再生されない。
ビデオ	編集の基本となるトラック。映像と音声とともに再生される。
タイトル	タイトルを作成するためのトラック。
アフレコ	ナレーション用のトラック。音声のみが使用される。
BGM	BGM 用のトラック。音声のみが使用される。





タイムライン編集ボタン

	「プロジェクトの保存」 編集中のプロジェクトを上書き保存します。 編集作業中は、定期的にプロジェクトを保存するようにしましょう！
	「切り取り」「コピー」「貼り付け」 選択中のクリップの切り取り／コピーや、貼り付けを行います。
	「取り消し」「やり直し」 直前の操作を取り消しや、取り消した操作を戻します。
	「クリップの分割」 タイムラインカーソルの位置でクリップを分割します。 他のクリップを挿入したいときや、不要なシーンを取り除くときに使用します。
	「トランジションの設定」 選択したクリップやタイムラインカーソルの位置に、トランジション（画面の切り替え効果）を設定します。 → 後述の「画面の切り替えを効果的に！（トランジション）」を参照
	「速度」 選択中のクリップの再生速度を 50～200%の範囲で変更できます。 ※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 85 ページを参照
	「ビデオフィルタの設定」 明るさや色を調整したり、子画面で表示したりするときに使用します。 ※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 88～91 ページを参照
	「オーディオ設定」 クリップの音量やフェードイン／フェードアウトを設定します。 ※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 92～93 ページを参照
	「タイトルの作成」 タイトルを作成します。 → 後述の「画面に説明を付ける（タイトル）」を参照
	「タイトルエフェクトの設定」 タイトルの効果を設定します。 → 後述の「画面に説明を付ける（タイトル）」を参照
	「アフレコ」 接続したマイクなどからナレーションを録音し、音声クリップとして追加します。 ※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 102～103 ページを参照



	「レンダリング」 再生がスムーズに行えない場合には、タイムラインをレンダリングすることで、正しく再生できるようになります。 ※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 104～105 ページを参照
	「静止画の保存」 現在のタイムラインカーソル位置の映像を、静止画として保存して、Bin に登録します。 ※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 106 ページを参照
	「ムービーの出力」 編集した映像をファイルとして出力します。 ※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 124 ページを参照

MEMO

上表で説明しているタイムライン編集ボタンは、「オーバーレイ」「ビデオ」「タイトル」「アフレコ」「BGM」の選択しているトラックによって、下表のように使用できるボタンが変化します。

操作を行いたいトラックを選択してから、ボタンを押すようにしましょう。

	「プロジェクトの保存」	「切り取り」	「コピー」	「貼り付け」	「取り消し」	「やり直し」	「クリップの分割」	「トランジションの設定」	「速度」	「ビデオフィルタの設定」	「オーディオ設定」	「タイトルの作成」	「タイトルエフェクトの設定」	「アフレコ」	「レンダリング」	「静止画の保存」	「ムービーの出力」
オーバーレイ																	
ビデオ																	
タイトル																	
アフレコ																	
BGM																	



タイムラインの表示

「エディウス J」でも用いられているタイムラインとは、ビデオ編集で、複数のシーンを時系列に並べて表示する方式のことをいいます。ビデオを編集するとき、全体の作品を構成する画像を時系列に並べて編集操作を行います。

「エディウス J」だけでなく、ほとんどのビデオ編集ソフトでは、このタイムラインでの表示を用いてビデオ編集を行います。

一覧から表示スケールを選択

表示スケールは、大雑把に並べるときは荒く（大きく）、細かな調整をするときには細かく（小さく）します。

スライダをドラッグしても、表示スケールを変更できる

一段階大きな表示スケールにする

一段階小さな表示スケールにする

タイムラインカーソル

ファイル名

クリップの長さ

トリミングマーク

サムネイル画像

- ・ 「ビデオ」トラックは2段で表示されていますが、上段が「映像」、下段が「音声」をあらわしています。
- ・ 素材クリップの先頭と末尾のそれぞれがトリミングされずに配置されている場合には、グレーの三角形のマーク（トリミングマーク）がクリップ上に表示されます。

※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 59～63 ページを参照

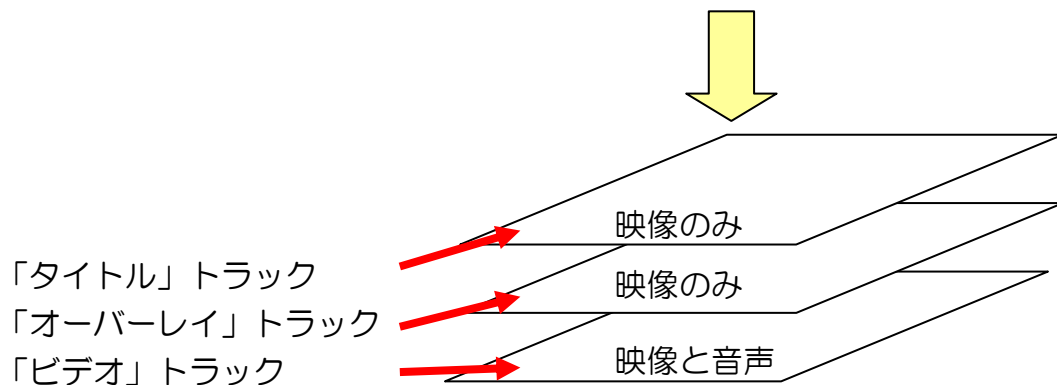


タイムラインにクリップを並べる

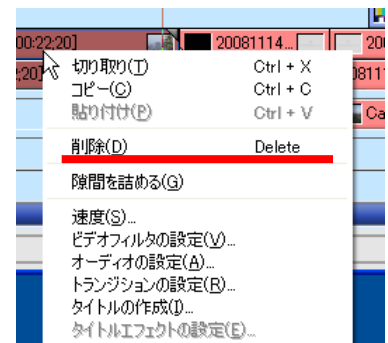
「エディウス J」の画面右上にある Bin に登録されているクリップを、タイムラインのそれぞれのトラックにドラッグ&ドロップすることで、タイムラインにクリップを並べることができます。

再生したい順番に、タイムラインにクリップを並べていきます。

- 「ビデオ」トラックには、映像と音声の両方が含まれたクリップを並べることができますが、「オーバーレイ」トラックと「タイトル」トラックには映像だけ、「アフレコ」トラックと「BGM」トラックには音声しか並べることができません。
- ビデオカメラで撮影された映像には、映像と音声記録されています。「ビデオ」トラックに並べたときは、映像と音声の両方が再生されますが、「オーバーレイ」トラックに並べたときは映像しか再生されません。
- 映像を並べられる 3 つのトラックは、①「タイトル」トラック → ②「オーバーレイ」トラック → ③「ビデオ」トラックの順に優先して表示されます。



- 同じクリップを何回でも並べることができます。
- 並べたクリップを削除したいときは、削除したいクリップの上で右クリックをして、表示されるメニューで「削除(D)」を選択します。**(タイムラインから削除されるだけで、Bin に登録されたクリップ、および元のファイルが変更されることはありません。)**
- 既にクリップが並べられている部分にドラッグ&ドロップすると、ドラッグしてきたクリップが挿入されます。また、既に並んでいるクリップをドラッグ&ドロップすると、クリップの順序を変更できます。
- 映像と音声記録されているクリップを「オーバーレイ」トラックに並べると、映像だけが並べられますが、「ビデオ」トラックに移動させても映像だけのままで、音声は並べられません。音声も必要な場合には、Bin から並べなおしてください。
同様に、「アフレコ」トラックと「BGM」トラックに映像と音声記録されているクリップを並べた場合、音声だけが並べられます。



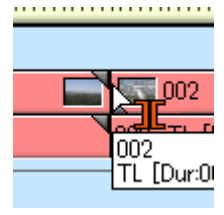
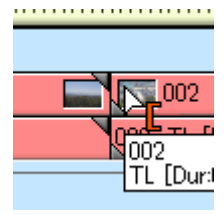
※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 64～75 ページを参照



不要な部分をトリミングする

タイムラインに並べたクリップは、クリップの端をドラッグしてやることで、前後の不要な部分を削除（トリミング）できます。

- トリミングを行うときは、タイムライン左上のタイムラインスケール（右図）を使って、作業しやすいスケールに変更しましょう。
- クリップの先頭に不要な部分があるときは、クリップの先頭部分にカーソルを合わせて、カーソルが右図のように  となるようにします。カーソルが  の状態で、**右方向**にドラッグするとドラッグした分だけトリミングできます。**（プレビューウィンドウの右側にトリミング後の先頭画面が表示されます。）**
- クリップの最後に不要な部分があるときは、クリップの最後部分にカーソルを合わせて、カーソルが右図のように  となるようにします。カーソルが  の状態で、**左方向**にドラッグするとドラッグした分だけトリミングできます。**（プレビューウィンドウの左側にトリミング後の最後の画面が表示されます。）**
- クリップの途中に不要な部分があるときは、不要な部分にタイムラインカーソルをあわせて、タイムライン編集ボタンの「クリップの分割（）」ボタンを押し、クリップを分割します。その後、分割したクリップの前後を  と  のカーソルでトリミングします。
- クリップとクリップの継ぎ目にカーソルを合わせると、 というカーソルになります。カーソルが  の状態でドラッグすると、前のクリップの終了点の位置と後ろのクリップの開始点の位置を連動させて移動できます。作品全体の時間を変えずに、場面の切り替わり地点（カットポイント）を変更できます。



※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 76～81 ページを参照

MEMO

Bin に登録されているクリップは、タイムラインに何回でも並べられます。また、タイムラインに並べたクリップをトリミング・削除しても、タイムラインでトリミング・削除されるだけで、Bin に登録されたクリップ、および HDD に取り込んだ元のファイルが変更されることはありません。

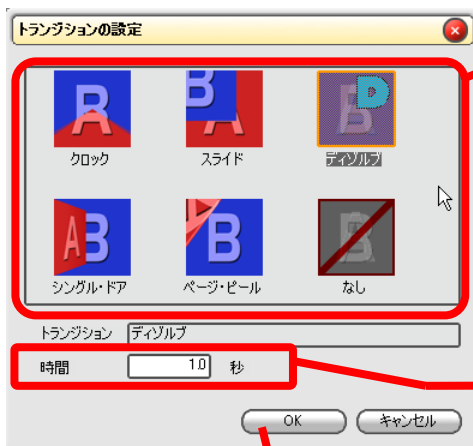
また、Bin から「登録の削除(D)」を行っても、HDD に取り込んだファイルは削除されていないので、「 HDD やメモ리카ードから取り込み」の手順で Bin に再登録すると、また利用できるようになります。



画面の切り替えを効果的に! (トランジション)

「エディウス J」では、クリップとクリップのつなぎ目に、画面の切り替え効果（トランジション）を設定できます。

トランジションを設定したいクリップとクリップのつなぎ目に、タイムラインカーソルを合わせて、タイムライン編集ボタンの「トランジションの設定 ()」ボタンを押します。表示された「トランジションの設定」ダイアログで、設定したいトランジションの種類と、トランジションの長さを指定します。



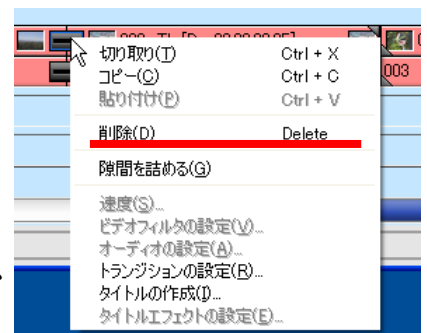
トランジションの種類を選ぶ

- ・ディゾルブ …… 画面が少しずつ変化していく
- ・スライド …… スライドしながら切り替わる
- ・クロック …… 扇を開くように切り替わる
- ・シングル・ドア …… ドアが開くように切り替わる
- ・ページ・ピール …… ページがめくれるように切り替わる

トランジションの長さを指定

「OK」ボタンを押すと、クリップのつなぎ目にトランジションが設定される。

設定されたトランジションを削除するには、トランジション部分 () を右クリックして表示されるメニューで「削除(D)」を選択するか、「トランジションの設定」ダイアログでトランジションの種類を「なし」に設定します。

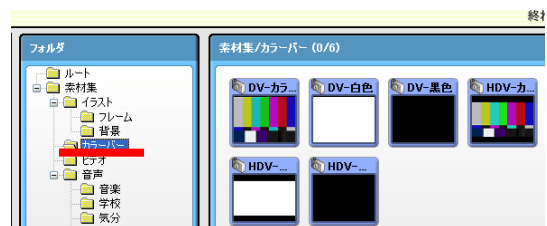


※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 82～84 ページ、130 ページを参照

MEMO

黒い画面（ブラックビデオ）や白い画面から、フェードイン・フェードアウトさせたい場合には、Bin の「カラーバー」フォルダから「DV-白色」「DV-黒色」「HDV-白色」「HDV-黒色」といったカラークリップを使用します。

フェードインならクリップの前、フェードアウトならクリップの後に並べてトランジションを設定します。





MEMO

「エディウス J」は、「超編 Ultra EDIT2」の後継バージョンに位置付けられているものの、より簡単にビデオが編集できるようにするため、難しい設定画面などが排除されています。その影響で、設定できるトランジションの数は最小限のものに限定され、細かなトランジションの設定もできなくなっています。

派手なトランジションは目を引きますが、本来見てほしい映像が注目されなくなってしまうかもしれません。テレビ放送を見ていると、カメラの切り替わり時にトランジションはほとんど設定されていません。場面が変わるなど、場面転換など大きな変化のタイミングのときにしか、トランジションは設定されていないのです。トランジションの多用には注意しましょう！



「超編 Ultra EDIT2」よりも「エディウス J」は簡単にビデオを編集できるようになっています。その反面、難しい操作や機能が省かれています。

MEMO

本書は、「エディウス J」で簡単な編集が行えることを目的としているため、すべての機能を説明していません。以下のような機能については、「エディウス J」のユーザーズマニュアルを参照するか、実際に使ってみてどのように動作するかを試してみてください。

- ・クリップの再生速度を変更する (タイムライン編集ボタンの )
- ・映像を調整する (タイムライン編集ボタンの )
- ・音量を調整する (タイムライン編集ボタンの )
- ・アフレコ (タイムライン編集ボタンの )
- ・全体をレンダリング (タイムライン編集ボタンの )
- ・現在位置のフレームを Bin に追加 (タイムライン編集ボタンの )



ビデオ編集ソフトは、「エディウス J」の他にも、
いろんなメーカーから販売されています。



MEMO

トムソン・カノーブス株式会社からは、ビデオ編集ソフトとして「エディウス J」の他に、

- ・ エディウス J ￥14,800 (税別)
- ・ EDIUS Neo ￥29,800 (税別)
- ・ EDIUS Pro 5 ￥79,800 (税別)

が販売されています。それぞれ「エディウス J」よりも高度な編集が行える半面、高価なビデオ編集ソフトとなっています。

また、トムソン・カノーブス株式会社以外でも

- ・ Adobe Premiere Elements 7 ￥14,490 (税込)
- ・ Adobe Premiere Pro CS4 ￥98,175 (税込)
- ・ Ulead VideoStudio 12 ￥15,540 (税別)
- ・ Ulead VideoStudio 12 Plus ￥20,790 (税込)

といったビデオ編集ソフトが各社から販売されています。(上記以外にも多くのビデオ編集ソフトが販売されています。上記は、その一部に過ぎません。)

ご自身のパソコンにビデオ編集ソフトを導入しようと考えておられるのであれば、それぞれのメーカーのホームページで体験版がダウンロードできるようになっていることが多いので、ご利用になられるパソコンの仕様・性能とビデオ編集ソフトが求めている動作環境を照らし合わせ、体験版をインストールして実際に試用するのがいいと思います。

※上記のビデオ編集ソフトの名称と価格は、それぞれ平成 20 年 11 月時点で販売元のホームページで確認した定価です。

パソコンの高性能化にともなって、高価な専用のパソコンじゃなくても、ビデオ編集ソフトさえあれば、家庭でもビデオ編集ができるようになってきています。

また、機能は限られているものの、Windows にもビデオ編集ソフトが付属しています。





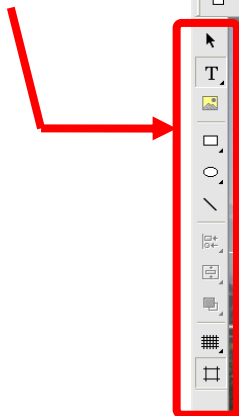
画面に説明を付ける(タイトル)

タイトルクリップを作成する

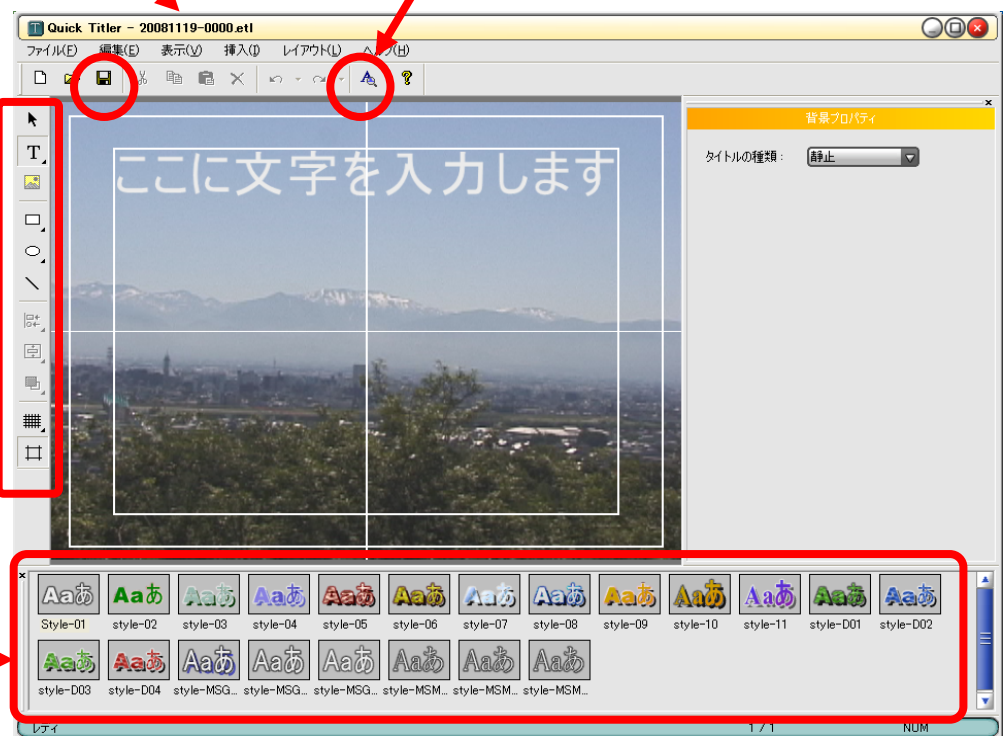
「エディウスJ」で編集すると、パソコンにインストールされているフォントを使って、画面上の好きな位置に、好きな大きさに文字を表示できます。

以下の手順で作業してください。

保存するファイル名  「プレビュー」ボタン 

ツールバー 

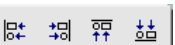
スタイル一覧 



1. タイトルを作成した居場所にタイムラインカーソルを合わせて、タイムライン編集ボタンの  を押します。
2. タイトルクリップを編集する「QuickTitler」が表示されます。
3. 使用する文字のスタイルを「スタイル一覧」から選びます。
4. タイトルを表示させたい位置でクリックして、キーボードでタイトルを入力します。
5. 画面右側の「テキストプロパティ」で文字の大きさや色などを調整します。
6. 「プレビュー」ボタン () を押して、作成したタイトルクリップを確認します。
7. 「保存」ボタン () を押して、作成したタイトルを保存します。既に作成したタイトルクリップを元に、別のタイトルクリップを作成するときは、「ファイル」メニューから「名前を付けて保存(A)...」を選択して、別名でタイトルクリップを保存します。
8. 「閉じる」ボタン () を押して「QuickTitler」を終了すると、作成したタイトルクリップが「タイトル」トラックに並べられています。
9. 配置されたタイトルクリップの端をマウスでドラッグすると、タイトルクリップを表示する時間(長さ)を調整できます。



「QuickTitler」の各部の名称と働き

	「オブジェクトの選択」ボタン オブジェクトを選択します。
 長押しすると 	「テキスト」ボタン テキストを作成します。 左クリックで長押しすると、「横書きテキスト」「縦書きテキスト」を選択できます。
	「イメージ」ボタン イメージを作成します。
 長押しすると 	「四角形」ボタン 四角形を作成します。 左クリックで長押しすると、「四角形」「角の丸い四角形」を選択できます。
 長押しすると 	「楕円」ボタン 楕円を作成します。 左クリックで長押しすると、「楕円」「円」を選択できます。
	「直線」ボタン 線を作成します。
 長押しすると 	「位置揃え」ボタン オブジェクトを整列します。 左クリックで長押しすると、「左揃え」「右揃え」「上揃え」「下揃え」を選択できます。
 長押しすると 	「中央揃え」ボタン 選択したオブジェクトを中央揃えに整列します。 左クリックで長押しすると、「上下中央揃え」「左右中央揃え」を選択できます。
 長押しすると 	「順序」ボタン 選択したオブジェクトの順序を変更します。 左クリックで長押しすると、「前面」「背面」「最前面へ移動」「最背面へ移動」を選択できます。
 長押しすると 	「グリッドの表示切り替え」ボタン グリッドの表示/ 非表示を切り替えます。 左クリックで長押しすると、「点グリッドの表示切り替え」「線グリッドの表示切り替え」を選択できます。
	「タイトルセーフエリアの表示切り替え」ボタン タイトルセーフエリアの表示/ 非表示を切り替えます。
	「保存する」ボタン 作業中のファイルを上書きして保存します。
	「プレビュー」ボタン 現在の表示領域を最終画質でプレビューします。

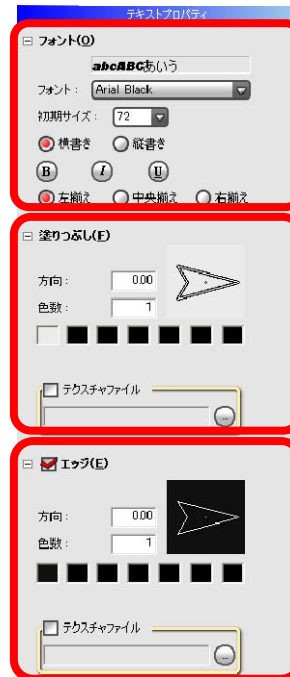


テキストの調整

画面右側の「テキストプロパティ」では、文字の大きさや色のバランスなどを調整できます。ワープロ感覚で入力した文字列を、好きな位置・大きさ・色で配置しましょう。

表示する文字にエッジ（縁取り）を付けておくと、表示させた文字が映像にまぎれることがなくなり、読みやすくなります。

「塗りつぶし(F)」と「エッジ(E)」の色が同じような色だと、文字の細かな部分がつぶれてしまいます。注意して配色しましょう。



フォントの種類
文字の大きさ
書式

文字の色

エッジの色
(縁取りの色)

※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 94～100 ページを参照

MEMO

「超編 Ultra EDIT2」では、プロジェクトファイルの中にタイトルのデータも保存されていましたが、「エディウス J」はタイトルを別のファイルに保存するように変更されています。

「エディウス J」では、画面上に表示するタイトルをタイトルクリップとして管理し、編集には「QuickTitrer」を用いて、プロジェクトファイル（拡張子 .ezp）とは別のファイル（拡張子 .etl）として保存します。

それぞれのタイトルがタイトルクリップとして個別に保存され、Bin に登録されます。同じタイトルを、タイムラインに複数個並べることができますが、タイトルクリップを編集すると、変更した内容は同じタイトルクリップすべてに反映されます。

MEMO

タイトルクリップで表示する文字は、二重に表示されているタイトルセーフエリア（右図の←で示す領域）の内側の領域内に配置しましょう。

タイトルセーフエリア外に配置されていると、再生するテレビの環境によっては画面からはみ出してしまう可能性があります。





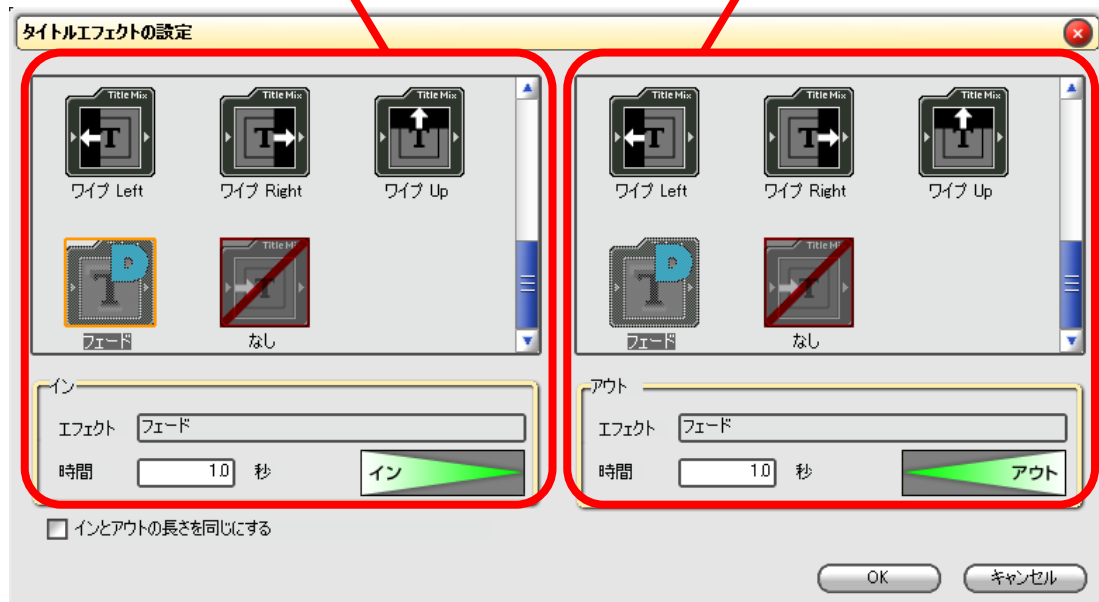
タイトルクリップに効果を加える

タイトルクリップが、ゆっくりフェードインして表示されたあと、フェードアウトしながら消えたり、といったタイトルの表示方法を設定できます。

以下の手順で作業してください。

表示開始時の効果

表示終了時の効果



1. タイトルを作成した居場所にタイムラインカーソルを合わせて、タイムライン編集ボタンの  を押します。
2. 「タイトルエフェクトの設定」ダイアログ表示されます。
3. 「イン（表示開始時）」と「アウト（表示終了時）」のそれぞれについて、効果と時間を選択して、「OK」ボタンを押します。

選択可能な効果は、以下の 14 種類です。

- ・ スライド A Down / Left / Right / Up
- ・ スライド B Down / Left / Right / Up
- ・ ワイブ Down / Left / Right / Up
- ・ フェード
- ・ なし

タイトルクリップに効果をかけたくない場合には、効果を「なし」に設定します。

※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 101 ページを参照



BGMを追加する

音楽 CD (CD-DA^{vii}) に記録された音声データを、簡単に映像作品の BGM として利用できます。



※ CD に記録されていても、CD-DA の方式ではない CD からは、この方法では音声データを取り込めません。MP3 などの方式で CD に記録されている音声データは、前述の「■HDD やメモ리카ードから取り込み」の手順で取り込みます。

※ コピーガードが施された CD からは、音声データを取り込めません。

MEMO

著作権では、第 30 条において「私的使用のための複製」を許可しています。そのため、個人的に又は家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用する場合においては、著作権者に使用許諾を得なくとも、著作物を利用できることになっています。

しかし、私的使用を規定した第 30 条には以下のような制限があるので注意してください。

- ・ 「家庭内その他これに準ずる限られた範囲」は、親密な特定少数の友人、小研究グループが該当すると考えられ、人数としては 4～5 人程度。
- ・ 自身が所有する機器で、自身の手によって複製しなければならない。そのため、映像センターのような公共機関の設備での複製には適用されません。

映像センターでは、このような私的使用の制限から、以下のような行為をお断りしています。

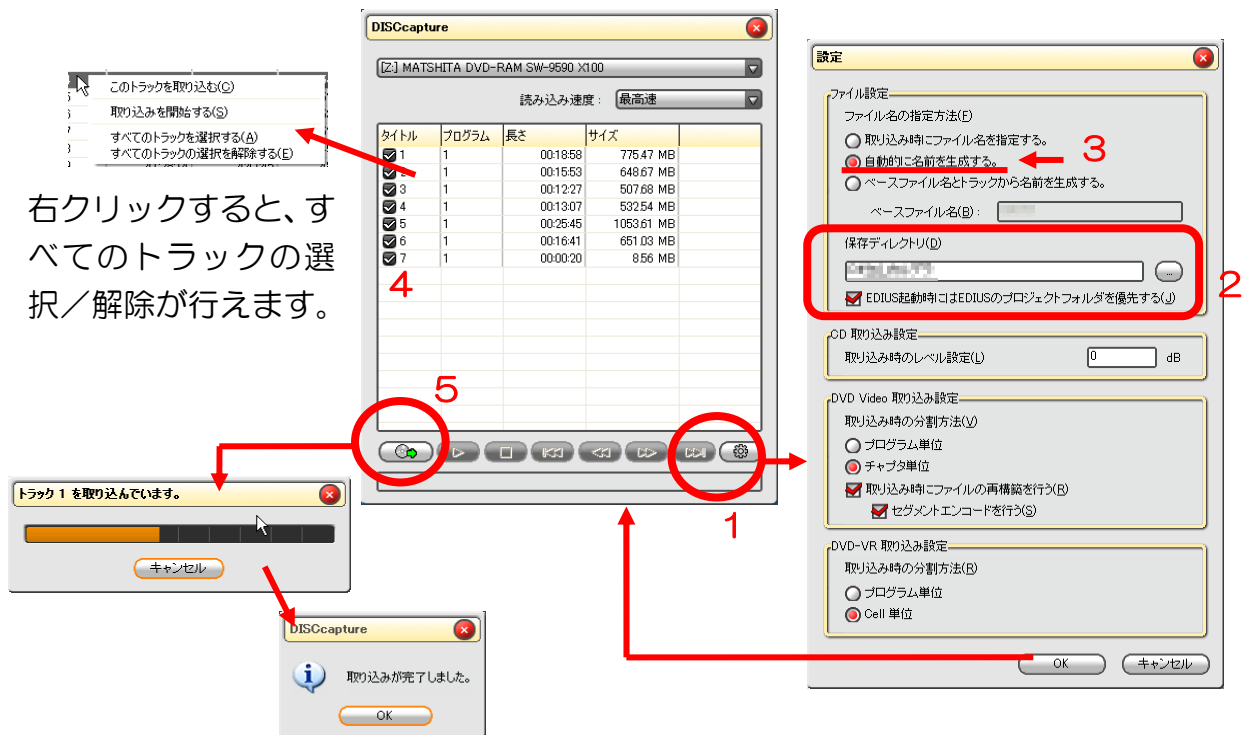
- ・ 自分自身が所有する音楽 CD であっても、使用許諾の得られていないものを編集素材として利用する。
- ・ 使用許諾の得られていないテレビ録画を映像素材として利用する。(自分自身が映っていても、著作権は制作者にある。)

私的利用の範囲内の映像作品に使用する BGM については、映像センター 職員にご相談ください。

^{vii} CD-DA … Compact Disc Digital Audio の略で、音楽用 CD のこと。音声データをサンプリング周波数 44.1kHz、量子化 16 ビットの PCM 方式でデジタル録音するため、アナログレコードと違って何度聞いても音質が劣化しない。



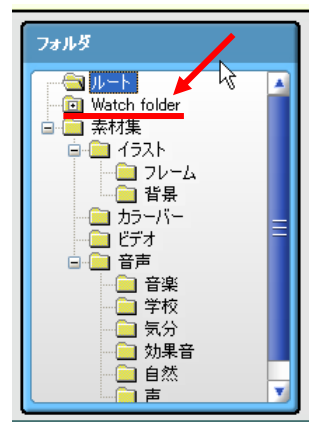
DVD から映像を取り込むには、「CD/DVD から取り込む」ボタンを押して表示された「DISCcapture」ダイアログで、以下の作業を行います。 **手順通りに行なわないと、意図していないフォルダに取り込まれてしまうので注意してください。**



1. まず、「設定」ボタン（）を押して、「設定」ダイアログを表示させます。
2. 「ファイル設定 — 保存ディレクトリ(D)」の「参照」ボタン（）を押して、取り込んだファイルを保存するフォルダを指定して、「OK」ボタンを押します。（**編集集中のプロジェクトが保存されているフォルダを指定します。**）
3. 「自動的に名前を生成する」を ON にします。
4. 取り込みたい映像の「タイトル」の欄にあるチェックボックスを ON にします。
5. 「取り込み」ボタン（）を押して、取り込みを開始します。

上記の 1. ～ 5. の操作を行うと、映像が HDD の中にファイルとして取り込まれ、Bin の「Watch folder」フォルダに登録されます。

「Watch folder」フォルダに登録されていない場合は、上記の 2. で指定したフォルダに、取り込まれたファイルが保存されているので、後述の「■HDD やメモリカードから取り込み」の手順で Bin に登録しなければなりません。



※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 27～30 ページを参照



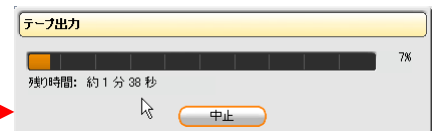
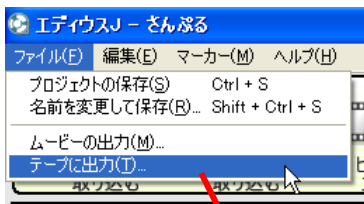
完成した映像作品を書き出す

テープへ書き出す

■DV テープに書き出す(DV)

右のような「はじめから（通常）」ボタンで作成した、縦横比が4：3なプロジェクトは、DV テープに DV 方式で書き出せます。

以下の手順で作業してください。



1. タイムライン編集ボタンの「レンダリング」を押して、スムーズに再生できるようにレンダリングを行います。
※ 編集内容や作品時間によって、レンダリングに要する時間は変化します。
2. 「ファイル」メニューから「テープに出力(T)...」を選択します。
3. 「テープ出力ウィザード」ダイアログが表示されたら、「出力(O)」ボタンを押します。
4. 「テープ出力」ダイアログが表示され、DV テープへの出力がはじまります。 DV テープへの書き出しには、編集した作品時間と同時間を要します。

※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 120・127 ページを参照

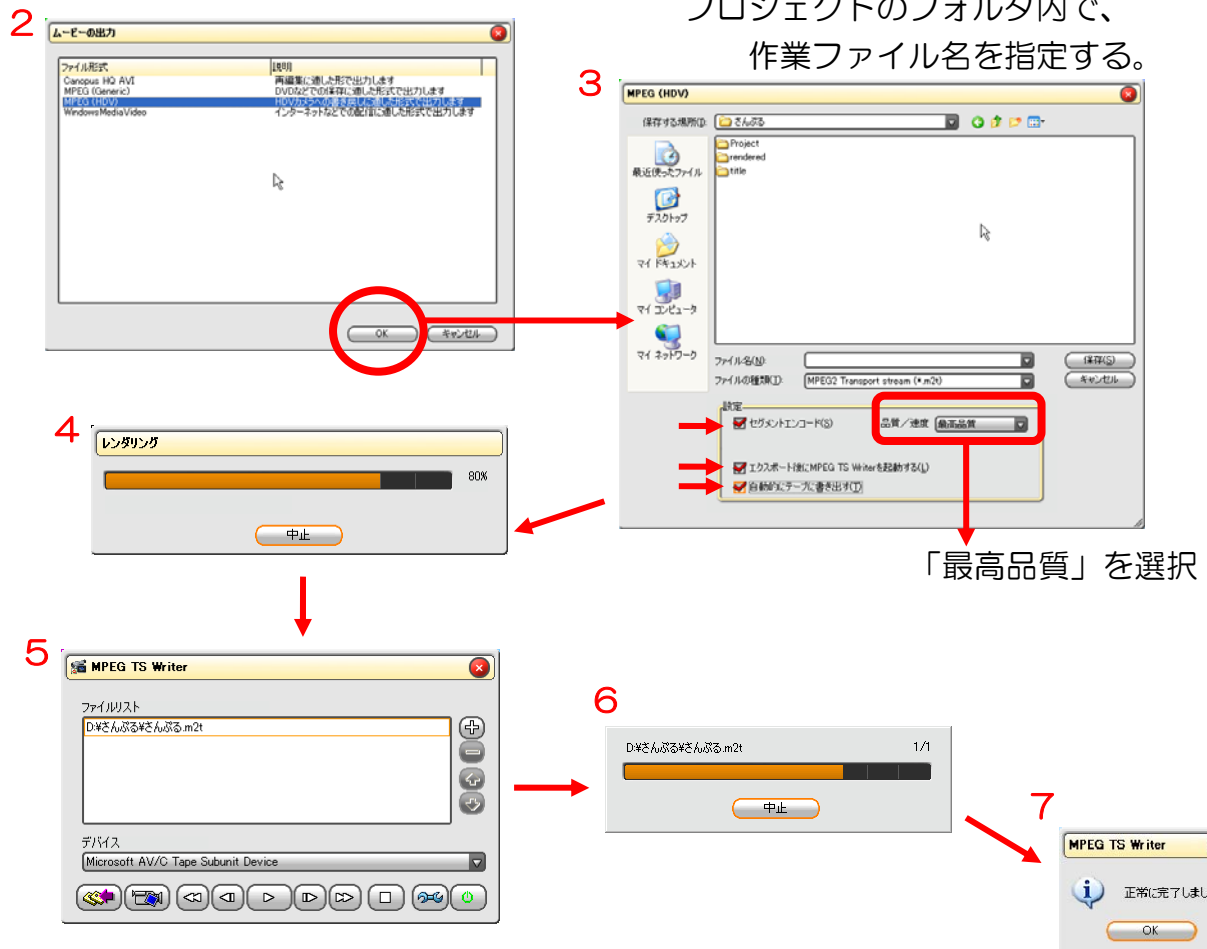
■DV テープに書き出す(HDV)

右のような「はじめから（ハイビジョン）」ボタンで作成した、縦横比が16：9なプロジェクトは、DV テープに HDV 方式で書き出せます。

以下の手順で作業してください。



※ 同じようにテープに書き出すものの、DV 方式とは手順が異なります。また、編集内容やパソコンの性能にもよりますが、編集した作品時間の数倍の時間を要します。



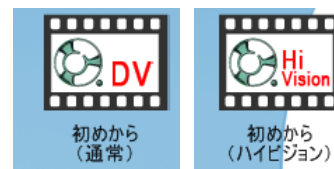
1. タイムライン編集ボタンの「ムービーの出力」を押します。
2. 「ムービーの出力」ダイアログが表示されたら、「ファイル形式」の一覧から「MPEG (HDTV)」を選択して、「OK」ボタンを押します。
3. 「MPEG (HDTV)」ダイアログが表示されたら、「設定」の欄にあるチェックボックスをすべて ON にして、編集した作品をテープに書き出すための作業ファイルを保存する場所を指定します。**(保存場所は、プロジェクトファイルを保存しているフォルダを指定しましょう。)**
4. 「レンダリング」ダイアログが表示され、テープに書き出すための作業ファイルが作成されます。
※ 編集内容や作品時間によって、作業ファイルの作成に要する時間は変化します。
5. 「MPEG TS Writer」が起動され、10 秒が経過したら自動的にテープへの書き出しが始まります。
6. 作成された作業ファイルを HDV 方式でテープへ書き出すには、編集した作品時間と同時間を要します。
7. テープへの書き出しが終了したら、「MPEG TS Writer」を終了して、「エディウス J」の編集画面に戻ります。

※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 127 ページを参照

DVD に書き出す



「エディウス J」は、編集した映像作品から DVD（厳密には DVD-Video）を作成できます。作成する DVD には、好きな場面を頭出しできるようにチャプターを設定したり、チャプターを選択できるメニュー画面を作成したりできます。以下の手順で作業してください。



「はじめから（通常）」ボタンと「はじめから（ハイビジョン）」ボタンのどちらで作成したプロジェクトでも DVD を作成できます。しかし、「はじめから（ハイビジョン）」ボタンで作成したプロジェクトで、**ハイビジョン映像を編集していたとしても、DVD に記録される映像は標準画質**となります。^{viii}

1. チャプターを設定する

まずは、「エディウス J」のタイムライン上に、チャプターを設定します。チャプターを設定したい位置にタイムラインカーソルを合わせ、タイムラインスケール部を右クリックすると表示されるメニューから「マーカーを追加(A)」を選択します。チャプターが設定されている個所には、 のマークが表示されます。



設定してあるチャプターを削除したいときには、追加した時と同様に、タイムラインカーソルを合わせ、タイムラインスケール部を右クリックして「マーカーを削除(D)」を選択します。

チャプターを設定しなくても DVD を作成できますが、編集した映像作品の先頭がチャプター 1 に設定されただけとなります。また、設定しなくても映像作品の先頭はチャプター 1 に設定されます。

※詳細は、「エディウス J」ユーザーズマニュアル 118 ページを参照

MEMO

「エディウス J」のタイムラインには、任意の位置にチャプターを設定できますが、DVD-Video の規格では設定可能なチャプター数は 99 に制限されています。作品の先頭に自動的に設定されるチャプター 1 を含めて、設定するチャプター数は 99 以内におかなければなりません。

詳細は <http://www.thomson-canopus.jp/tech/faqid/faq000841.htm> で公開されている FAQ を参照してください。

^{viii} DVD-Video は標準画質の映像を記録するための方式なので、ハイビジョン映像を記録できません。DVD にハイビジョン映像を記録する AVCHD や AVCREC といった方式も存在しますが、「エディウス J」はそれらの方式での書き出しには対応していません。



2. メニュー画面を設定する

チャプターの設定が終わったら、「エディウス J」の画面上部にある「DVDを作る」ボタンを押して、「Canopus DVD Creator」を起動させ、メニュー画面の設定を行います。



「スタイルの選択」画面



「メニューの編集」画面



「DVDへ出力」画面

「Canopus DVD Creator」は「スタイルの選択」「メニューの編集」「DVDへ出力」の3つの画面で構成されており、画面上部のタブを押すことで切り替えて作業します。メニュー画面の設定は、以下の手順で作業してください。

1. **スタイル選択** を押して、「スタイルの選択」画面に切り替え、「DVDにメニューをつける」のチェックボックスをONにします。

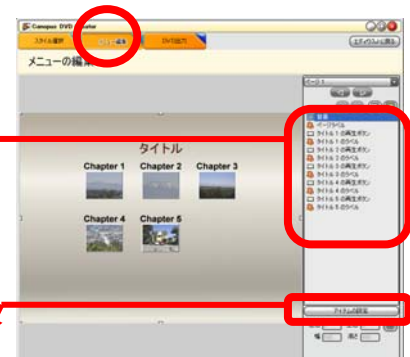
作成する DVD にメニューが必要なければ OFF にします。**(ディスク挿入時の動作は、「DVDへ出力」画面で設定します。)**

「DVDにメニューをつける」をON



2. 「スタイルの選択」画面の下部にあるスタイル一覧で、作成したいメニューのスタイル（デザイン）を選択します。**(スタイルは、種類ごとにタブで分類されています。)**

メニューのスタイルを選択する



3. **メニュー編集** を押して、「メニューの編集」画面に切り替え、表示されている「背景」「ボタン」「ラベル」などのそれぞれのメニュー項目について、設定する項目を画面右側のリストから選択して「アイテム設定」ボタンを押し、「メニューアイテムの設定」ダイアログで設定を行います。

設定する項目をリストから選び、「アイテム設定」ボタンを押す。

4. 「ページラベル」や「タイトル 1 のラベル」などの文字列は、画面左側のプレビュー画面でクリックすると、直接変更できます。また、画面左側のプレビュー画面で、それぞれのメニュー項目をドラッグする



ことで、メニュー項目の配置を変更できます。

5. チャプター数が多い場合には、自動的に 2 ページ目、3 ページ目が作成されます。2 ページ目以降も、同様に設定します。

※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 108～115 ページを参照

MEMO

DVD には、必ずしもメニューを作成しなければならないわけではありません。チャプターだけを設定して、メニューを作成しなくても構いません。

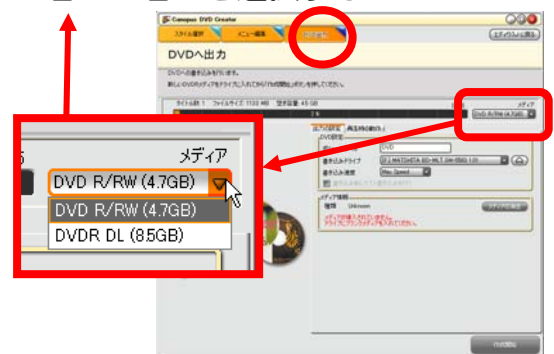
3. DVDに書き込む

「1. チャプターを設定する」が終わったら、以下の手順で DVD への書き込みを行います。

1. **DVD出力** を押して、「DVD へ出力」画面に切り替えます。

2. 画面左側にあるメディア種別を指定します。編集した映像作品の時間が、1 時間を越えるようであれば、DVD-R DL のような二層メディアを使用した方が、高画質な映像で記録できます。1 時間未満の映像作品であれば、一層メディアで構いません。

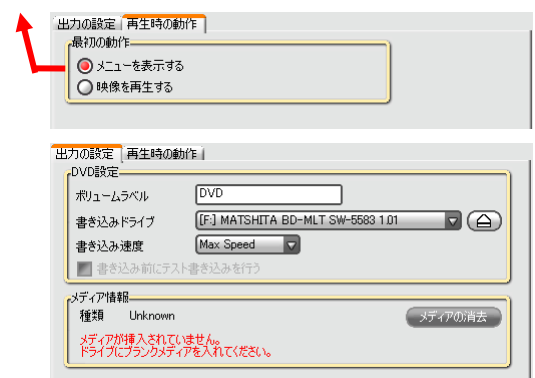
一層か二層かを選択する



3. **再生時の動作** を押して、DVD をプレーヤーに挿入したときの動作を設定します。

「2. メニュー画面を設定する」で設定したメニューを表示させるのであれば、「メニューを表示する」を ON にします。「映像を再生する」が ON になっていると、メニューを表示せずに映像を再生します。

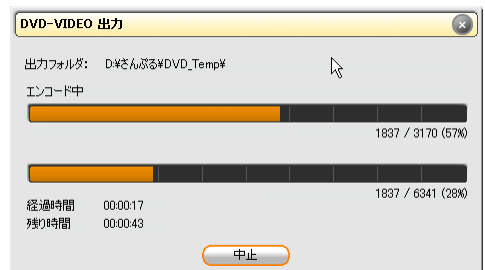
ディスク挿入時の動作を指定する



4. **出力の設定** を押して、DVD への書き込みを行います。

必要に応じて「ボリュームラベル」を設定し、指定された書き込みドライブに DVD が挿入されていることを確認します。

時間に余裕があるのであれば、「書き込み速度」を 4 倍速未満に設定することをおすすめします。時間はかかりますが、信頼性を高めることができます。





5. 画面右下の「作成開始」ボタンを押して、DVD への書き込みを開始します。DVD への書き込みは、「DVD-VIDEO 出力」ダイアログと「処理状況」ダイアログの二つの画面で行われます。編集内容や作品時間によって、DVD への書き込みに要する時間は変化します。終了までの時間は、画面に表示されている残り時間を目安にしてください。
6. DVD への書き込みが終了したら、画面右上の「エディウス J」に戻る」ボタンで、「エディウス J」の画面に戻ります。

※詳細は、「エディウス J」 ユーザーズマニュアル 116～117 ページを参照

MEMO

「エディウス J」は、「DVD-R（一層・二層）」「DVD-RW」「DVD+R（一層・二層）」「DVD+RW」のそれぞれの DVD メディアへの書き出しに対応しています。しかし、使用するパソコンに搭載されている DVD ドライブが対応していないメディアへの書き出しは行えません。

また、DVD-Video での書き出しに DVD-RAM は利用できません。

既に書き込まれている DVD への追記は行えず、「DVD-RW」「DVD+RW」などの書き換え可能な DVD への書き込み時には、「メディアの消去」ボタンを押して、現在書き込まれている内容を消去してから書き込みます。

DVD への書き込み時にエラーが発生する場合には、書き込み速度を下げてください。

MEMO

市販されている DVD は、大別すると「データ用」と「録画用」の二種類があります。基本的に、「データ用」と「録画用」は同じものですが、「録画用」の販売価格には著作権保護を目的とした「私的録画補償金」が含まれています。DVD レコーダーなどで、テレビ番組を録画する場合には「録画用」を使用しなければなりません。

パソコンで作成したデータを記録する場合や、個人で撮影したものを編集したビデオ作品を DVD に書き込むのであれば、「私的録画補償金」を支払う必要がないので、「データ用」と「録画用」のどちらを使用しても構いません。

また、「録画用」の DVD の中には「地デジ対応」と称した CPRM 対応のものも市販されていますが、これは「コピーワンス」で保護されたコンテンツを記録するために必要なものです。



MEMO

富山県映像センターは、4つのサービスコンセプト（まなぶ、いかす、つくる、あつめる）と4つのセンター機能で、県民のみなさんの「映像を活用した文化・学習活動」を支援します。



・ 映像メディアの交流センター

映像制作や利用に関する相談に応じるとともに、映像ボランティアや団体などを支援しています。また、「ふるさとブース」などの映像鑑賞コーナーや資料の閲覧コーナーも設けています。

・ 映像メディアの学習センター

16ミリ映画やビデオソフト、映写機やプロジェクターなどを貸し出し、県民の皆さんの文化・学習活動を支援しています。また、ハイビジョンを利用した学習講座、制作実習講座、優れた映像の上映会など多彩な企画を用意しています。

・ 映像メディアの資料センター

富山県が制作した郷土の映像、富山県関連の映像を収集し、県民の文化的な財産として未来に残していこうと保存を進めています。また、さまざまな映像、機器に関する情報を提供しています。

・ 映像メディアの研究・制作センター

郷土学習教材の制作を昭和53年度から継続して行っており、映像制作のノウハウを蓄積しています。また、それらをデジタル化し、未来のニーズに対応できるように研究を進めています。さらに、遠隔地での講座や素材映像をオンライン配信する構想も進めています。

<http://www4.tkc.pref.toyama.jp/eizou/>

改訂履歴

- ・ 初版……………2008年12月3日
 - ・ 二版……………2009年8月7日
- DVDやCDからの取り込みについて、説明を補足した。その他、微修正を行なった。

